

2 足腰の強い産業をめざす

2-1 力強い産業基盤の構築

2-2 知床しゃりの展開

2-3 担い手の育成と確保



政策2-1 力強い産業基盤の構築

2-1-1

産業基盤整備の推進

各産業基盤の整備と適正な維持を推進し、力強い産業の構築をめざします。

農業基盤の整備

水産基盤の整備

林業基盤の整備

商工業の振興

観光業の振興

2-1-2

資源の持続的活用の推進

資源の循環的利用など、資源を枯渇させない再生力を高める仕組みづくりを推進します。

農業の持続的推進

水産資源の
持続的活用森林資源の
持続的活用

商工業資源の活用

観光資源の活用

2-1-3

戦略的経営の促進

事業者等の経営基盤強化や整備、多様な連携・協力の仕組みづくりを推進します。

制度資金の活用と促進

経済団体等への支援

情報システムの拡充

政策2-2 知床しゃりの展開

2-2-1

イメージ戦略の推進

「知床しゃり」をキーワードにして、新たな魅力の開発と定着に努めます。

環境保全型産業のPR

新たな魅力の発掘と創造

魅力的な観光の推進

2-2-2

海と大地の恵みの提供

「知床しゃり」の安全・安心な魅力と商品の提供への取り組みを図ります。

ブランド力を持たせた
付加価値の向上

産業連携の推進

多様な商品提供の
促進

2-2-3

地元食材の消費拡大

地元食材の魅力を伝え、地域消費の拡大を推進します。

地域の味の伝承

地産地消の推進

地域消費の拡大



政策2-3 担い手の育成と確保

み
ど
りし
ご
とま
ち
な
みく
ら
しい
き
い
きま
な
びち
ょう
み
ん

2-3-1 雇用の流動的活用の 推進	労働力の流動化を図り労働環境を整えつつ、季節的に不足する労働力確保と雇用安定に努めます。	作業委託の活用促進	就労機会の提供拡大
--------------------------	--	-----------	-----------

2-3-2 就労者の支援	就労者のスキルアップや斜里町で家庭を持ち産業を担う就労者の支援を推進します。	新規就労者の支援	スキルアップと就労喚起	安心して働ける 就労環境の整備と支援
-----------------	--	----------	-------------	-----------------------

2-3-3 担い手確保と技術継 承	後継者探しやシニア世代の活用と担い手を育成する取り組みと仕組みづくりを推進します。	事業継承の推進	シニア世代の就労環境整備
-------------------------	---	---------	--------------



2-1-1

産業基盤整備の推進

現状と課題

斜里町は、良好な自然環境に育まれた農林漁業による1次産業を基礎として、加工業等の2次産業が興り、更に、これらに関連した3次産業が発展しています。

また、斜里町には、世界自然遺産知床をはじめ、貴重な自然環境が存在し、これを中心とした観光産業も大きな発展を遂げています。

そのような中、斜里町の産業の維持と更なる発展のためには、まず町の主な産業となる農業、漁業、林業における生産基盤の整備と維持が不可欠です。また、1次産業を基盤とする工業や商業においても、交通や流通の整備、工場などの製造拠点施設の維持が重要となります。

更に、今後、成長が期待される観光業でも、自然環境や景観、農村作業風景等は重要な観光資源であり、整備が望まれています。

1次、2次産業における生産基盤は、整備効果が維持されていくように、長寿命化対策や円滑な更新が必要です。また、多様な観光の魅力づくりとして、環境保全や景観整備など、新たな視点での取り組みが必要です。

目的・目標

農林水産業における生産基盤をはじめ、商業や工業、観光のための街並みなど、各分野での基盤整備と維持を推進し、力強い産業基盤の構築をめざします。

単位施策

	単位施策名称	内容	町民参加・協働
1	農業基盤の整備	農業の国際化が進展する中、安心安全で安定的な生産維持のため、低コスト・高付加価値化に向けた土地改良事業による計画的な基盤整備と土地改良施設の長寿命化に向けた維持管理に努めます。また、農業経営の安定化・効率化を目指すため、認定農業者の育成支援、遊休農地の発生防止対策や農地集積事業の推進に努めます。	 参加・協力・連携・協働 中
2	水産基盤の整備	生産拠点、流通拠点としての機能を増進するために、関係機関と連携して漁港やふ化場、漁業関連施設の整備を促進し、それらの施設が機能を発揮できるように環境整備と適正な維持管理に努めます。	 参加・協力・連携・協働 中
3	林業基盤の整備	植栽から、下刈り、枝打ち、間伐作業を適期に実施し、森林作業路等の整備による森林整備環境の維持に努め、次世代にも引き継がれる森林資源の有効活用と生産基盤の近代化に努めます。	 参加・協力・連携・協働 中



み
ど
り

し
ご
と

ま
ち
な
み

く
ら
し

い
き
い
き

ま
な
び

ち
ょう
み
ん

	単位施策名称	内容	町民参加・協働
4	商工業の振興	中心市街地活性化事業により整備された市街地のにぎわい創出や商工業関連の通信インフラの整備など、商工業の活性化に努めます。また、地場製品の安定供給や高次加工のための取組みを促進します。	
5	観光業の振興	世界自然遺産に代表される、豊かな観光資源の保護と適正利用を図り、広域的な観光ルートの整備や新たな観光スポットの整備、地域産業景観の観光資源化に努めます。また、国際化のための整備や来訪者の安心安全のための社会資本整備、空港等からの2次交通の確保などに努めます。	

成果指標

		H25	H30	H35
1	農業(農地)基盤整備の進捗(今後10年間の道営事業費の進捗状況)	0%	55%	100%
2	漁業基盤整備の進捗(漁港整備及び強い水産業づくり交付金事業の進捗状況)	57.3%	80%	100%



ビートの植え付け



サケの水揚げ



2-1-2

資源の持続的活用の推進

現状と課題

斜里町の1次産業は近年概ね安定した資源水準のもとで営むことができている。一方で資源は利用の過多や環境面から多面的な影響を受けるため、今後は資源の持続的・循環的利用が求められており、町内各産業における連携の取組みが望まれています。また、収穫や資源の加工時に発生する副産物や残渣などの再利用や減量化などへの取組みが課題となっています。

1次産業においては農地や河川、海域の健全性を確保し、資源の枯渇をさせない生産体制の確立が望まれます。2次産業では加工の工程で発生する残渣などの再利用による付加価値化への取組みが望まれています。

また、建設や土木などにおいても、産業基盤の整備や維持に要する、土石等の地下資源の利用にも、無駄のない活用や、廃材等の再利用率の向上が望まれています。

これら資源の持続的・循環的利用の観点から、これまで未利用であった資源の活用や再生資源の利用促進を図り、環境への負荷を軽減し、且つ持続できる取組みが課題となってきます。

目的・目標

斜里町の産業は、生産物や自然環境・観光景観など、多様な資源の適正な利用により成り立っており、これら資源の循環的利用や栽培・育成により、資源を枯渇させない再生力を高める仕組みづくりを推進します。

単位施策

	単位施策名称	内容	町民参加・協働
1	農業の持続的推進	家畜自衛防疫組合による、農場の衛生管理及び家畜伝染病予防を徹底します。また、家畜糞尿対策や未利用資源を活用した堆肥づくりを推進し、土づくりを含め、地力向上と輪作体系の確立を推進します。	 参加・協力・連携・協働 中
2	水産資源の持続的活用	水産業は豊かな自然環境に依存して営まれることから、海域・河川等の環境保全に努めるとともに、水産資源を安定させるために、関係機関と連携して資源づくりと適正利用を促進します。	 参加・協力・連携・協働 中
3	森林資源の持続的活用	森林は、二酸化炭素吸収源、水源涵養、生物多様性の保護と防災など公益的、多面的な機能を有していることから、適切な森林施業の実施や再生可能な木質資源の利活用など、関係機関と連携し、森林資源の循環と持続的活用に努めます。	 参加・協力・連携・協働 中



	単位施策名称	内容	町民参加・協働
4	商工業資源の活用	農林水産物等加工に発生する副産物や残渣等の活用促進に努めるとともに、加工品原材料や公共事業に要する骨材資源の利用において、資源の枯渇防止や再生利用の促進に努めます。	中
5	観光資源の活用	希少性の高い自然環境や景観及び、地域の歴史や産業などの多様な観光資源の活用を図り、農林水産物をはじめ豊富な地域資源の観光産業への活用に努めます。	中

成果指標

		H25	H30	H35
1	農業生産額	103億円	100億円	100億円
2	漁獲高	118億円	110億円	110億円
3	観光消費額	124億円	120億円	120億円



知床半島



しれとこ斜里ねぶた

み
ど
り

し
ご
と

ま
ち
な
み

く
ら
し

い
き
い
き

ま
な
び

ち
ょう
み
ん



2-1-3

戦略的経営の促進

現状と課題

斜里町は、農業漁業を中心に1次産業を基盤として、2次産業や3次産業が発展してきました。町内の1次産業産品は、安全性や品質が高いものの、海外からの輸入品との競争では、国際貿易自由化等に伴って発生すると思われる諸問題への対応面で研究と対策が必要なほか、製品の差別化や2次加工等による付加価値化、産業間連携による新たな進展や魅力向上面での研究・取り組みが望まれています。

これらの対応に向け、地域産業の維持・発展に向けた戦略的な経営の研究と取り組みが必要であり、新たな取り組みや研究などに向け、研究機関との連携や開発費用の支援、近代化への整備支援制度等の維持と活用促進が望まれます。

また、地域特性や希少性を最大限の魅力として活用していくため、各産業間が総合的に連携する仕組みづくりが課題となっています。

目的・目標

事業者や経済団体の経営基盤の強化や整備と、多様な連携・協力の仕組みづくりを推進します。

単位施策

	単位施策名称	内容	町民参加・協働
1	制度資金の活用と促進	生産施設の近代化や事業運営の円滑化・安定化を図るため、各種補助・助成制度や融資制度などの資金制度の活用を促進するとともに、利子助成などの支援に努めます。	 参加・協力・連携・協働 中
2	経済団体等への支援	経済環境が変化するなかで、生産者や事業者が安心して事業展開が行えるよう、みどり工房などの活用促進や、経済団体を通じた経営効率化等の指導強化への支援、また、各産業が総合的に連携する観光産業の中核的機能を有する組織の支援など、経済団体間の連携強化に努めます。	 参加・協力・連携・協働 中
3	情報システムの拡充	情報インフラを活用した情報の管理により、多様化する高度な技術・情報の迅速な共有と提供システムの強化を図ります。	 参加・協力・連携・協働 中

成果指標

		H25	H30	H35
1	農業:L資金貸付件数(年度末の貸付総件数)	166件	160件	160件
2	漁業:近代化資金貸付件数(年度末の貸付総件数)	44件	40件	40件
3	商工業:近代化資金貸付件数(年度末の貸付総件数)	11件	10件	10件



2-2-1

イメージ戦略の推進

重点施策3

現状と課題

斜里町は、自然保護と適正利用の取組みにおいて、全国の先駆けであり、それにより知床をはじめとする貴重でクリーンなイメージを持たれているが、そのことは必ずしも、特産物の品質の良さや食の安全などと結びついたものにはなっていないところがあります。

そこで、斜里町の特産品や産業イメージを、「知床しゃり」に統一し、豊かな自然環境に立脚した安心・安全を産む産業が発展していることが、十分に伝えられるイメージ戦略を展開する必要があります。

そのため、環境保全型産業の取組みに加えて、異業種連携の支援、魅力的な「知床しゃり」の観光・物産の情報発信をどのように行うのが課題となっています。

目的・目標

雄大な自然環境の中で育まれる、安心安全を念頭にして、クリーンな産業イメージを追求し、「知床しゃり」をキーワードにした、新たな魅力の開発と定着に努めます。

単位施策

	単位施策名称	内容	町民参加・協働
1	環境保全型産業のPR	GAP(農業生産工程管理)やMSC(持続可能な漁業の認証)等の取組みにより、クリーンで安全・安心な農水産物の生産を推進し、限りある資源の保護や、豊かな自然環境に負荷を与えない産業振興に向け、内外に対し、積極的な情報開示や働きかけを行なうとともに、環境保全型産業の振興とイメージ化に努めます。	 中
2	新たな魅力の発掘と創造	経済団体や地域団体、異業種の連携などによる起業支援や、消費者のニーズを把握して、新たな特産品開発などを支援し、魅力の創出とイメージ化に努めます。	 大
3	魅力的な観光の推進	観光の利用動向の調査など、観光客が知床に何を求めているかを把握し、求められる魅力の磨き上げと提供のための取組みを支援します。また、エコツーリズム [*] やグリーンツーリズム [*] などニューツーリズム [*] を推進し、長期滞在や再訪問を促し、滞在型・着地型観光の促進に努めます。	 中

成果指標

		H25	H30	H35
1	知床しゃりブランドの申請数	16品	5品	5品



2-2-2

海と大地の恵みの提供

現状と課題

斜里町の近年の農業と漁業は、安定した生産と売上額を維持しているが、生産期が集中しているため、この多くは2次加工品の原材料として町外へ供給されている現状となっています。そのため、2次加工による付加価値化や、ブランド化の取組みが十分とは言えません。

そこで、斜里町の産品に「雄大で豊かな知床しゃりの海と大地の恵み」のイメージ定着を図り、個々の産品が「知床しゃり」のイメージに統一されたブランド化を図る取組みが必要です。

そのため、世界自然遺産知床の知名度やイメージを最大限に活用し、6次産業化^{*}や商工連携、産業間連携などの促進と、産品の付加価値化・魅力アップによる販売促進や消費の拡大を図るための取組みが課題となっています。

目的・目標

6次産業化や産業連携により、知床しゃりで生み出される安全・安心な魅力と商品の提供への取り組みを図ります。

単位施策

	単位施策名称	内容	町民参加・協働
1	ブランド力を持たせた付加価値の向上	収穫・水揚げなどの一次産品の段階から、選別や鮮度保持等による付加価値向上を図り、世界自然遺産の知名度を生かした農水産物加工品の開発や商標登録などにより、付加価値を更に向上させるよう努めます。	 参加・協力・連携・協働 中
2	産業連携の推進	6次産業化など、産業連携分野への支援拡充に努め、地場産業活性化チャレンジ補助金や地場産品の魅力強化の取組みなど、資源立地型産業の振興に努めます。	 参加・協力・連携・協働 大
3	多様な商品提供の促進	行政及び企業・団体相互が情報提供を積極的に行なうことや、各種催事の中で商品提供を行い、新たな流通形態への発展を期待し、出荷先の多様化に対応できる取り組みを促進します。	 参加・協力・連携・協働 中

成果指標

		H25	H30	H35
1	知床しゃりブランドの販売実績	4.2億円	5億円	6億円



2-2-3

地元食材の消費拡大

現状と課題

農業や漁業が盛んな斜里町において、北海道内の郷土料理を中心に、地元で食される味覚が現代社会の食卓で失われつつあります。また、地域の食材を購入できる機会も限られています。こういった中で、地域の食材を活かした食文化は貴重なものであり、今後の世代へ伝承されることも望まれています。

地元の旬の食材を知るための食育や調理・製法の伝承、また観光客や来訪者への消費提供を行い、食の面から「知床しゃり」の気候風土を広く周知する活動が必要となります。

目的・目標

地元の食材の魅力を伝え、地域消費の拡大を推進します。

単位施策

	単位施策名称	内容	町民参加・協働
1	地域の味の伝承	でんぷん団子や魚の焼き漬け・飯寿司に代表されるような、他の地域では食べられていない魅力あるふるさとの味や作り方を次世代に伝承し、普及活動に努めます。	 参加・協力・連携・協働 大
2	地産地消の推進	地域食材の購入を推進するため、季節の食材等を町広報やホームページなどの媒体を通じて積極的に周知し、消費拡大に努めます。また、学校給食においては、地域食材を活用し、子どもたちが地元の味に慣れ親しむ環境づくりに努めます。	 参加・協力・連携・協働 大
3	地域消費の拡大	少子高齢化と人口減少の続く中、観光やビジネスなどで、斜里町を訪れる交流人口による消費は、地域経済を維持する上で重要な課題であり、地域消費の拡大に向けた取組みに努めます。また、農水産物には「斜里産」の表記を行うことにより、手に取られやすい取組みを促進します。	 参加・協力・連携・協働 大

成果指標

		H25	H30	H35
1	学校給食における斜里町産品の割合(金額ベース)	8.9%	9.5%	10%



2-3-1

雇用の流動的活用の推進

現状と課題

斜里町の産業は、農漁業を中心として形成されていることから、春先・秋の収穫時期に労働需要が集中し、季節的に労働力不足を招いており、各産業の繁忙期が集中する時期の雇用需給対策が必要となっています。また、通年で長期間・長時間の労働の解消に向け、農作業の一部委託などの取組みが望まれています。

そのため、一部業務委託を担うコントラクター^{*}の設立促進や、技能経験豊富な高齢者の応援・指導者としての活用に向けた取組みが課題となっています。

目的・目標

作業委託の活用や異業種交流を含めた既存労働力の流動化を図り、潜在的労働力を呼び込める労働環境を整え、季節的に不足する労働力の確保と雇用の安定に努めます。

単位施策

	単位施策名称	内容	町民参加・協働
1	作業委託の活用促進	一部産業で取り組まれている異業種における委託作業の活用を促進するとともに、各産業の重複する繁忙期への円滑な労働者の確保と雇用安定の支援に努めます。	 参加・協力・連携・協働 中
2	就労機会の提供拡大	女性や高齢者など、就労機会の少ない労働者に対し、ハローワークや高齢者勤労センターなどと連携して、公共施設掲示板や町ホームページを活用した情報提供を図るとともに、良好な労働環境づくりを推進します。	 参加・協力・連携・協働 中

成果指標

		H25	H30	H35
1	求職情報提供の箇所数	3箇所	5箇所	5箇所



2-3-2

就労者の支援

現状と課題

少子高齢化が進み、次世代を担う年齢層の不足や多様な産業を支える人材の確保は重要な課題となっており、町外からの積極的な取り込みが望まれて、新たな人材が、町内産業を担うための知識や技術の習得、スキル向上のための取組みが必要となっています。

これらに向けた移住世帯等の住宅確保や生活環境整備のための支援など、事情により定職できない現役世代が働きやすい環境の整備や子育て後の就労支援、求職意欲を喚起する取組みが課題となっています。

目的・目標

就労者のスキルアップと斜里町で家庭を持ち産業を担う就労者の支援を推進します。

みどり

しごと

まちなみ

くらし

いきいき

まなび

ちょうみん

単位施策

	単位施策名称	内容	町民参加・協働
1	新規就労者の支援	各産業での新規就労者支援のため、斜里町移住者等受け入れ促進事業の周知や、町内への定住促進に努めます。	 参加・協力・連携・協働 中
2	スキルアップと就労喚起	結婚や転勤、出産などによる離職中求職者の就労に向けたスキルアップ等を推進するとともに、斜網地域通年雇用促進協議会を通じて、季節労働者の通年雇用化に向けた取組みと冬期間の技能講習などに取り組みます。	 参加・協力・連携・協働 中
3	安心して働ける就労環境の整備と支援	就労者が安心して働けるように、安全・衛生対策に努めます。また、酪農ヘルパー制度活用などにより、労働負担軽減を図るとともに、生活基盤の整備を支援します。	 参加・協力・連携・協働 中

成果指標

		H25	H30	H35
1	スキルアップ研修の実施状況	7講座 11名	8講座 10名	8講座 10名



2-3-3

担い手確保と技術継承

現状と課題

地域に密着した事業者の多い斜里町では、各産業や事業における後継者不足（確保）は以前からの課題となっています。また、地域産業に特有の技術が引き継がれないことも大きな問題であり、技術継承のための取り組みが求められています。

そのため後継者確保と事業承継には、配偶者や家族からの生活環境支援が必要であり、地域産業に不可欠な技術を有する高齢者の就労に向け、労働時間や勤務体制などの就労環境や健康管理が重要な課題となっています。

目的・目標

将来の担い手や配偶者、技術の継承の確保が求められ、後継者探しやシニア世代の活用と担い手を育成する取り組みと仕組みづくりを推進します。

単位施策

	単位施策名称	内容	町民参加・協働
1	事業継承の推進	担い手や後継者の対策と、技術継承の取り組みを支援するとともに、後継者不足に悩む産業に対し、町広報やホームページなどの媒体を通じ、事業継承のための推進に努めます。また、安定的な農業経営を目指すため、農業生産法人の育成支援に努めます。	 参加・協力・連携・協働 中
2	シニア世代の就労環境整備	熟練した技能と経験を有する者からの技術能力継承を受けつつ、雇用形態の変化に対応した就労環境の整備に努め、長く働き続けられる環境づくりをすすめます。	 参加・協力・連携・協働 中

成果指標

		H25	H30	H35
1	労働人口に対する就業人口割合	95.8%	96%	96%